

「やってみたい」を育てる夏に

教務主任 片岡 真弥

日差しの強さに夏の訪れを感じる季節となりました。新年度からこれまで、子供たちは新しい環境や学習に懸命に向き合ってきました。笑顔あり、葛藤あり、それぞれの歩みの中に確かな成長を感じています。御家庭での温かな見守りと支えに、心より感謝申し上げます。

さて、NHK 大河ドラマ『べらぼう』を御覧になっている方もいらっしゃるかと思います。主人公は、江戸時代の出版人・蔦屋重三郎。洒落本や浮世絵など、それまで低俗とされていた文化に光を当て、「面白い」と感じたものを、恐れず世に送り出した人物です。彼の魅力は、何でも楽しいものにしてしまう発想力、そして一つのことにはひたむきに打ち込み、自分の道を切り拓いていく生き様にあります。

蔦屋が活躍したのは 18 世紀後半、八代将軍・徳川吉宗の享保の改革から時を経て、田沼意次が経済政策を推し進めた時代でした。商人や町人が力を持ち始め、出版や娯楽の文化が花開いた背景には、人々の暮らしに余裕が生まれたことや、知識と表現に対する社会の寛容さがありました。やがて松平定信による儉約政策で厳しい統制の時代が訪れますが、蔦屋はその中でも人々の「知りたい」「楽しみたい」という気持ちに応え続けました。

彼の自由な挑戦は、時代の空気と支える人々の存在に支えられていたとも言えます。人が力を発揮するには、「やってみたい」と思える好奇心と、それを受けとめる社会の余白が必要です。私たちが今、子供達にできることも、きっと同じではないでしょうか。

夏休みです。特別な体験でなくてもかまいません。料理をしてみる、虫を捕まえてみる、誰かと話してみる…。どんなことでも、「自分でやってみたい」と思ったことに一歩踏み出すことが、子供たちの自信や未来につながります。小さな一歩でも、自分の意思で踏み出したことには意味があります。たとえ結果がうまくいなくても、それを「楽しい」と思える感性こそが、次のチャレンジを生む原動力になるでしょう。

「べらぼう」という言葉には、ちょっと風変わりで、飛び切り大胆な、という意味もあります。常識にとらわれず、自分の感じたことを信じて進むその姿勢は、子供たち一人ひとりの中にもきっとあるはずです。この夏が、子供たちの中にある小さな“べらぼう”を育てる時間となりますように。

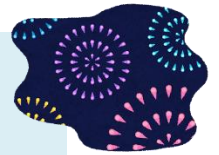


NHK「べらぼう」より引用

1学期を振り返って～各学部の様子を紹介します～



やる気満々！小学部のリーダー3組！



小学部3組担任 中村 文

小学部3組では、4月から「ぼくたち、わたしたちはみんなのお手本！リーダー！」を合言葉に、様々な活動に前向きに取り組んできました。学級目標にも「リーダー」の言葉を掲げ、毎日いろいろなことにチャレンジしています。

児童会任命式では、意気込みを発表し、校長先生から任命書をもらいました。任命書をもらう姿は、これからの1年間に期待感を持つキラキラ輝く笑顔が一杯でした。運動会では、学部のみんなに使ってもらうために応援グッズを作りました。練習や本番でたくさん使ってもらい、会場を一段と盛り上げました。応援グッズを運んだり配ったりして、子供たちが率先して動く姿は、とても頼もしかったです。

生活科の学習では、三条・長岡方面に校外宿泊学習に行きました。「パパやママがいなくても頑張る！」と、お風呂から寝るまでの準備や荷物の確認などを、みんなで協力しながら取り組みました。「一人でドライヤーができたよ！」「布団を自分で敷いたよ！」と、テキパキ動く6人は、ぐっと大人に見えました。

初めてのことも「やってみよう！」とチャレンジして、どんどん「できた！」が増えていった1学期。2学期もやる気満々で、様々な活動に取り組んでほしいです。





「たくさんの人に喜んでもらいたい」 という思いを持って



中学部1年担任 三浦 暢晃

中学部の作業学習では、今年度も、みんなで作り上げる農園「キラキラフレッシュファーム」を運営しています。ファームを運営するにあたり、ファーム会議を開き、みんなで話し合っただけで決めた「安全でおいしい野菜を作って、たくさんの人に食べてもらい、喜んでもらいたい」という目標を持って作業学習に取り組んでいます。1学期は「ミニトマト」「キュウリ」「ピーマン」「ナス」「エダマメ」「トウモロコシ」「サツマイモ」の栽培をしました。畝作りや苗植えでは、耕運機を適切に扱って安全に取り組もうとする姿や苗木を折らないように丁寧に畑に定植する姿が見られました。また、農園の管理・運営を行うために、整備班とグッズ班に分かれて活動しました。整備班では、「野菜を守りたい」「もっと知ってもらいたい」という生徒たちの思いから新しい柵や看板を制作するために木工作業の練習に励みました。グッズ班では、「販売会でお客さんに気持ち良く野菜を買ってもらいたい」という生徒たちの思いからエプロンの制作に取り組んでいます。どちらの班も生徒同士が協力して、目的達成に向けて作業に取り組んでできました。

7月10日（木）の販売会では、練習の成果を発揮して一生懸命活動に取り組み、たくさんの方に野菜を買っていただきました。今後も働く意欲を高めながら、「働くことって楽しいな」「〇〇に向けて頑張ろう」と思えるように、学習に取り組んでいきます。





夢をもった社会人を目指して



高等部3年担任 松本 晴菜

高等部3年生は、男子4人、女子4人の計8人のクラスです。「自立×自律」をテーマに掲げ、教科学習や職業生活、社会生活などの学習に前向きに取り組んでいます。また、今年度は高校生活ラストイヤーということもあり、毎日を大切にしながら、楽しく過ごしています。

さて、1学期は何といても修学旅行がありました。1日目は「大阪市内散策」、2日目は「USJ」、3日目は「大阪関西万博」「海遊館」を巡り、たくさんの思い出を作ることができました。大阪の食べ物、聖地巡礼、推し活など、一人一人が大阪の魅力に触れながら、思い出に残る3日間でした。しかし、残念ながら全員で参加することが叶わなかった修学旅行。生徒たちの思いを汲み取り、1学期のお楽しみ会では、「大阪プチ旅行」と題してみんなでたこ焼き作りをしたりレクリエーションをしたりして、8人全員で思い出を作ることができました。

2学期は、いよいよ進路決定に向けて本格的に進んでいきます。将来の夢や希望が実現できるように、どんな社会人になりたいか、どういう風に仕事をしたいかを具体的にイメージするとともに、自分自身を見詰め、今できることを着実に取り組んでほしいと思います。



★いよいよ夏休み★



1学期、保護者の皆様からは、当校の教育活動に御理解と御協力をたくさんいただき、本当にありがとうございました。明日から40日間の夏休みとなります。夏だからできること、長い休みだからできることを大事にして過ごしていただきたいと思います。有意義な夏休みとなりますよう、職員一同、心より願っています。